

決算説明会資料

～2013年3月期 第3四半期～

説明会開催予定日
2013年2月4日(月)

日本ハム株式会社

目次

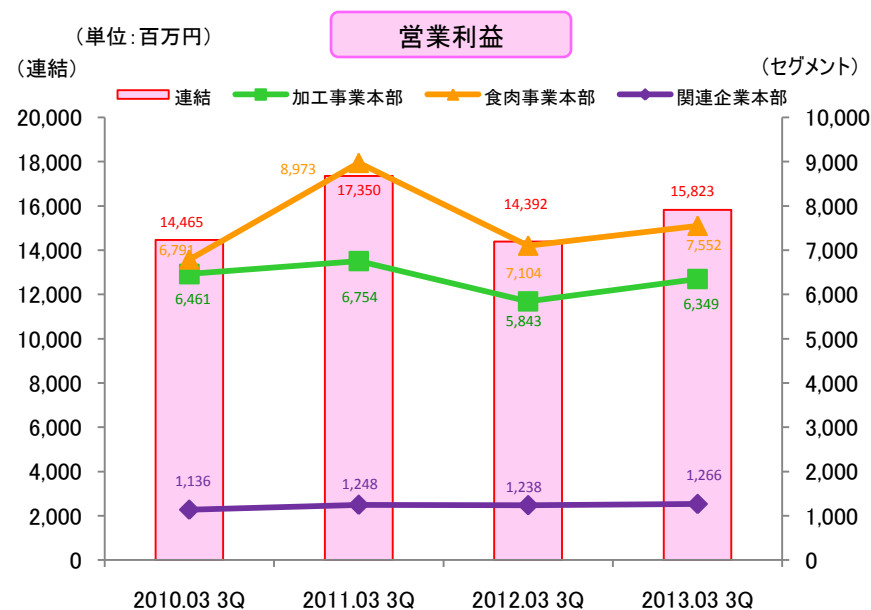
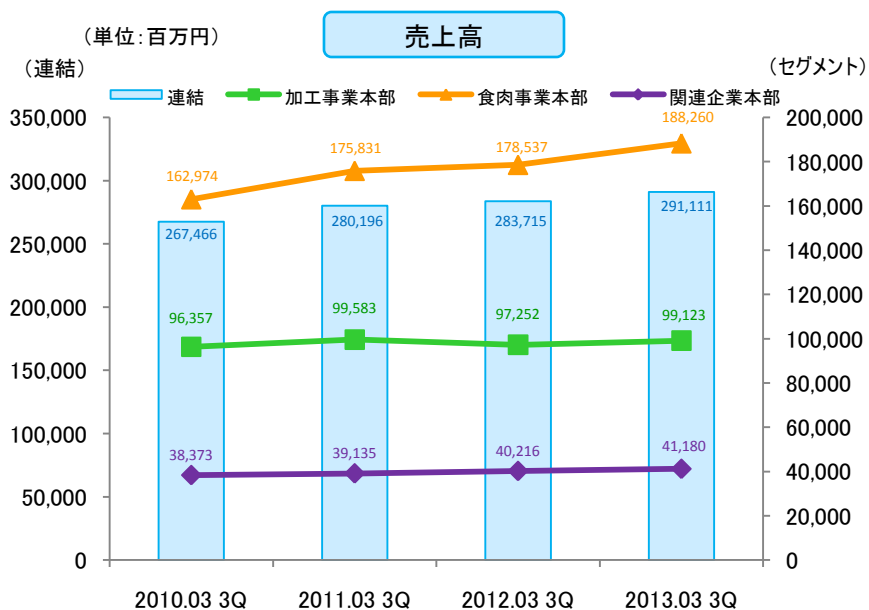
- I . 2013年3月期 第3四半期連結業績の総括
- II . 2013年3月期の計画
- III . 2013年3月期 第3四半期財務データ

I . 2013年3月期 第3四半期連結業績の総括

1. オペレーティング・セグメント情報 第3四半期
2. オペレーティング・セグメント情報 第3四半期累計
3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
5. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
6. 海外 主要所在地別業績実績

(単位: 百万円)

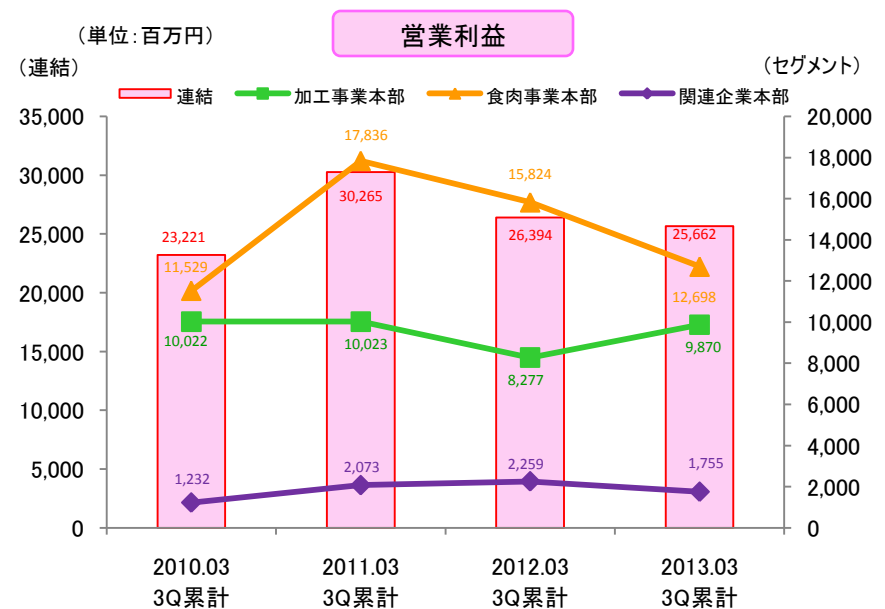
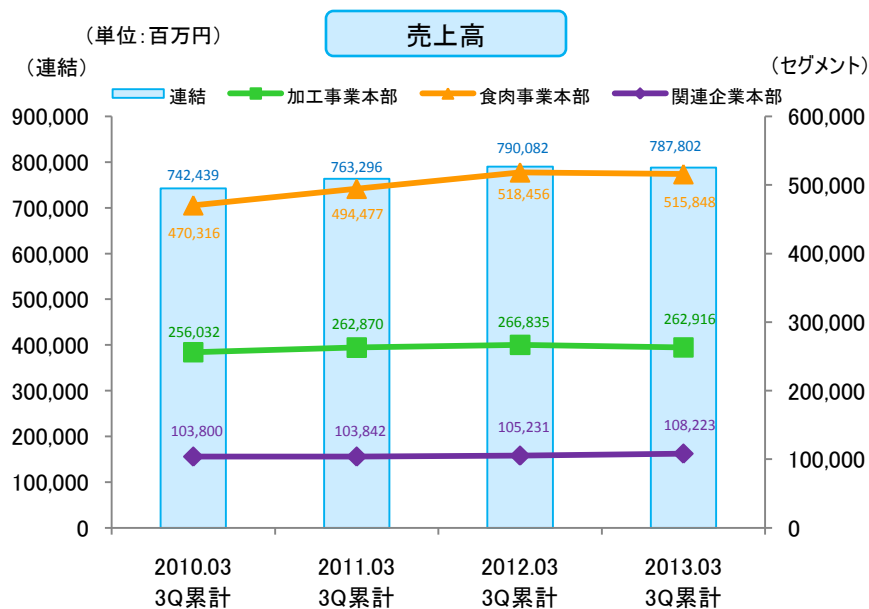
		2010.03 3Q	2011.03 3Q	2012.03 3Q	2013.03 3Q
加工事業本部	売上高	96,357	99,583	97,252	99,123
	営業利益	6,461	6,754	5,843	6,349
食肉事業本部	売上高	162,974	175,831	178,537	188,260
	営業利益	6,791	8,973	7,104	7,552
関連企業本部	売上高	38,373	39,135	40,216	41,180
	営業利益	1,136	1,248	1,238	1,266
消去調整他	売上高	△ 30,238	△ 34,353	△ 32,290	△ 37,452
	営業利益	77	375	207	656
連結合計	売上高	267,466	280,196	283,715	291,111
	営業利益	14,465	17,350	14,392	15,823



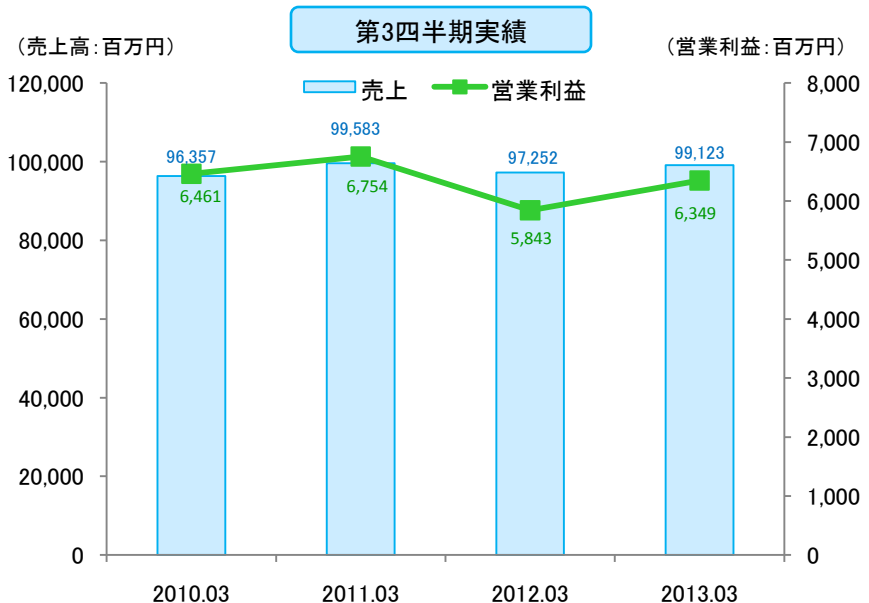
※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P19の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。
 ※過年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替再表示を行っております。

(単位:百万円)

		2010.03 3Q累計	2011.03 3Q累計	2012.03 3Q累計	2013.03 3Q累計
加工事業本部	売上高	256,032	262,870	266,835	262,916
	営業利益	10,022	10,023	8,277	9,870
食肉事業本部	売上高	470,316	494,477	518,456	515,848
	営業利益	11,529	17,836	15,824	12,698
関連企業本部	売上高	103,800	103,842	105,231	108,223
	営業利益	1,232	2,073	2,259	1,755
消去調整他	売上高	△ 87,709	△ 97,893	△ 100,440	△ 99,185
	営業利益	438	333	34	1,339
連結合計	売上高	742,439	763,296	790,082	787,802
	営業利益	23,221	30,265	26,394	25,662



※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P19の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。
 ※過年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替再表示を行っております。



(単位: 百万円)

	2012.03 3Q	2013.03 3Q	前年差	前年比
売上高計	97,252	99,123	1,871	1.9
営業利益	5,843	6,349	506	8.7
営業利益率	6.0%	6.4%	-	-

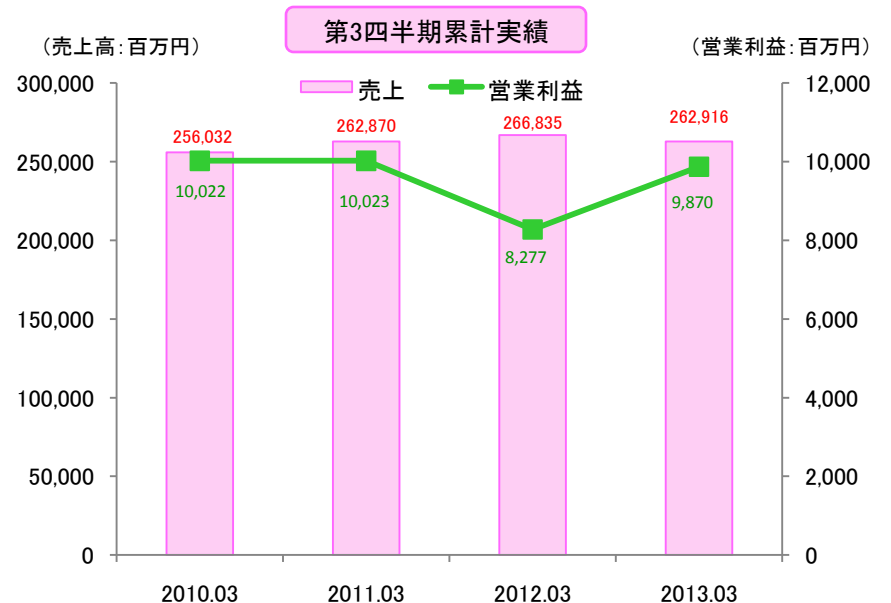
【第3四半期の状況】

(売上高)

- ・ハム・ソーセージ、加工食品ともにコンシューマ商品が堅調に推移し、増収。

(営業利益)

- ・ファイターズセールと年末商戦で売上を伸ばさせたほか、副資材の高騰を、コストダウン活動等でカバーし、増益。



(単位: 百万円)

	2012.03 3Q累計	2013.03 3Q累計	前年差	前年比
売上高計	266,835	262,916	△ 3,919	△ 1.5
営業利益	8,277	9,870	1,593	19.2
営業利益率	3.1%	3.8%	-	-

【第3四半期累計の状況】

(売上高)

- ・『シャウエッセン』が年間販促の効果もあり、好調に推移したが、加工食品の業務用商品が低調となり、減収。

(営業利益)

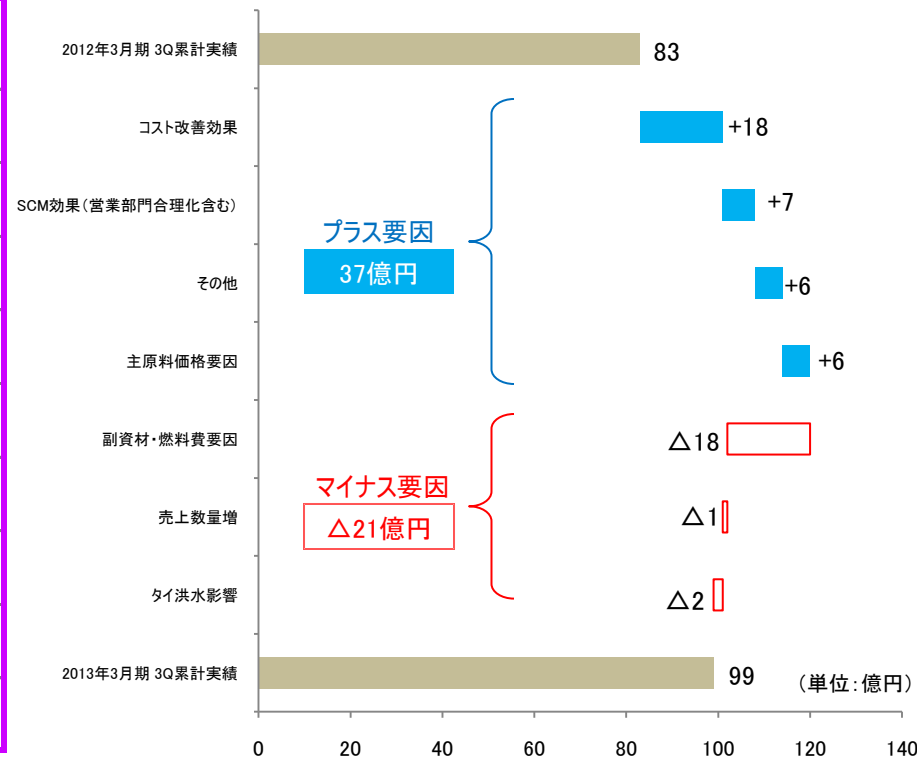
- ・コストダウン活動や、SCM効果により、増益。

【営業利益増減要因分析】

	2013.03 3Q累計 計画と実績				
	上期 実績	3Q 実績	3Q累計 計画	3Q累計 実績	計画 差異
コスト改善効果	13億円	5億円	19億円	18億円	△1億円
SCM効果(営業部門合理化含む)	5億円	2億円	6億円	7億円	1億円
主原料・副資材要因					
(内訳)主原料価格	4億円	2億円	4億円	6億円	2億円
(内訳)副資材・燃料等	△13億円	△5億円	△16億円	△18億円	△2億円
売上数量増	△3億円	2億円	2億円	△1億円	△3億円
タイ洪水影響	△3億円	1億円	△1億円	△2億円	△1億円
その他	8億円	△2億円	8億円	6億円	△2億円
合計	11億円	5億円	22億円	16億円	△6億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます

【第3四半期累計実績の増減要因グラフ】



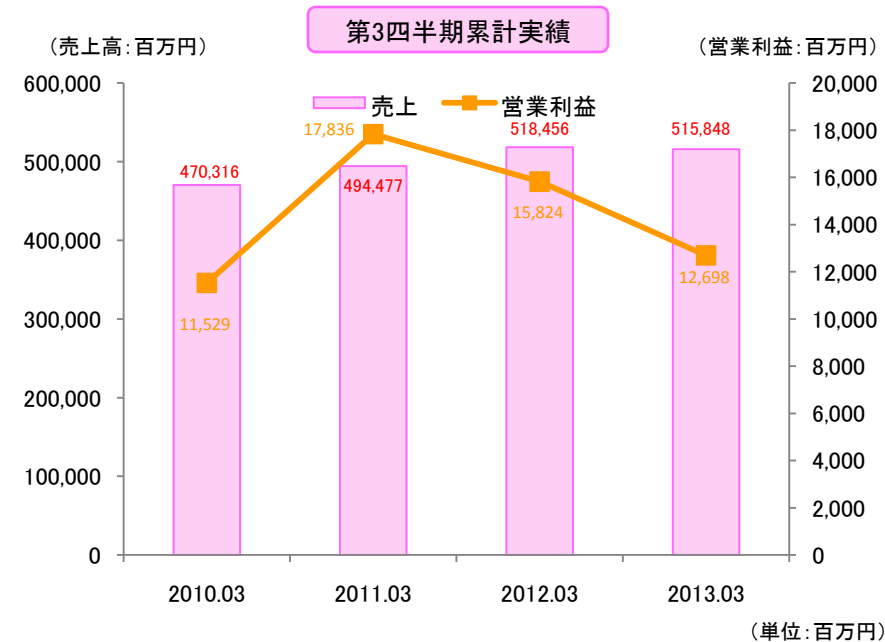
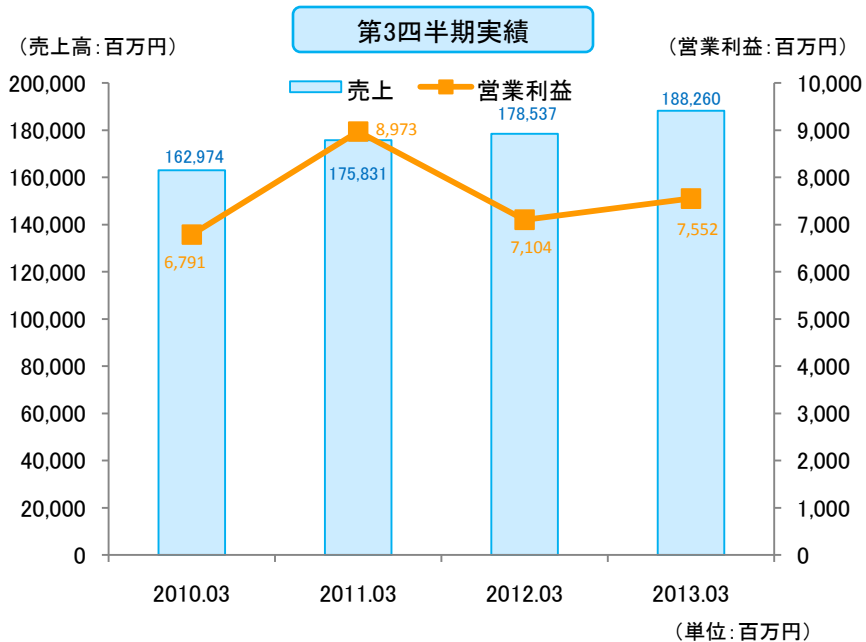
● 差異要因分析(第3四半期累計)

【主原料価格】

⇒ 豚肉、鶏肉の相場安に伴い、主原料価格低減の効果が出た。

【売上数量増】

⇒ ハム・ソーセージが数量伸長したが、加工食品の業務用商品の数量減で計画を下回った。



	2012.03 3Q	2013.03 3Q	前年差	前年比
売上高計	178,537	188,260	9,723	5.4
営業利益	7,104	7,552	448	6.3
営業利益率	4.0%	4.0%	-	-

	2012.03 3Q累計	2013.03 3Q累計	前年差	前年比
売上高計	518,456	515,848	△ 2,608	△ 0.5
営業利益	15,824	12,698	△ 3,126	△ 19.8
営業利益率	3.1%	2.5%	-	-

【第3四半期の状況】

(売上高)

- ・国内牛肉の単価上昇と、国内豚肉の数量伸長により、増収。

(営業利益)

- ・輸入鶏肉は、10月以降収支改善。
- ・国内生産は、豚、鶏の市況安で、減益。
- ・豪州事業は改善したが、米州の養豚事業が飼料高により、減益。

【第3四半期累計の状況】

(売上高)

- ・主に豚・鶏の相場低迷により、減収。

(営業利益)

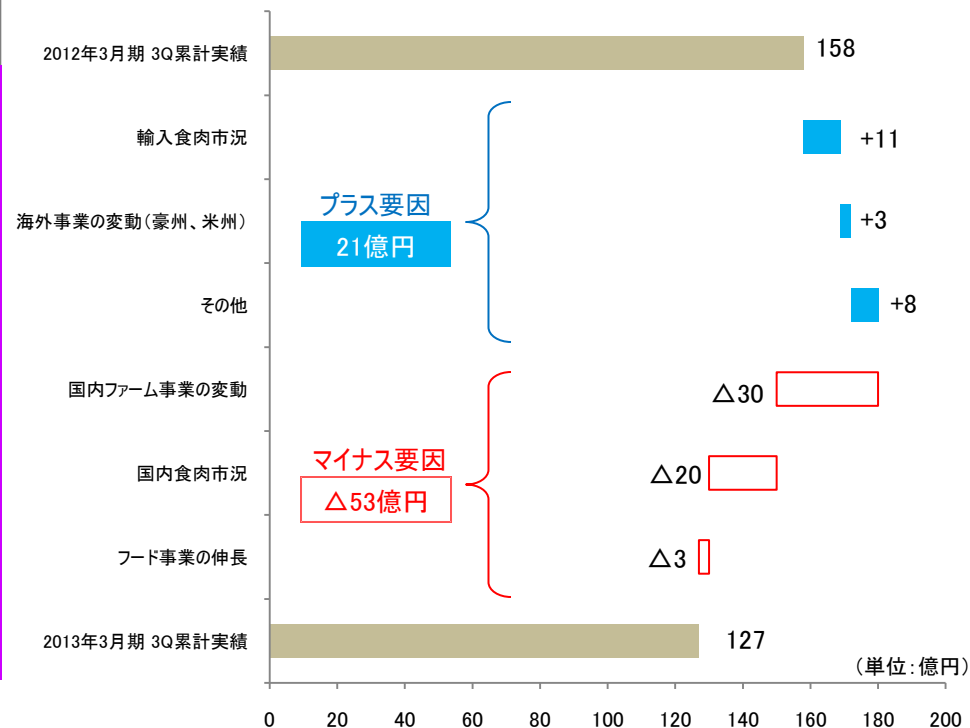
- ・国内相場の低迷により、主にファーム事業において採算が悪化し、減益。

【営業利益増減要因分析】

【3Q累計実績の増減要因グラフ】

	2013.03 3Q累計 計画と実績				
	上期実績	3Q実績	3Q累計計画	3Q累計実績	計画差異
輸入食肉市況	△2億円	13億円	16億円	11億円	△5億円
海外事業の変動(豪州、米州)	3億円	△1億円	3億円	3億円	0億円
国内ファーム事業の変動	△28億円	△2億円	△33億円	△30億円	3億円
国内食肉市況	△13億円	△8億円	△17億円	△20億円	△3億円
フード事業の伸長	0億円	△2億円	△1億円	△3億円	△2億円
その他	4億円	4億円	8億円	8億円	0億円
合計	△36億円	4億円	△24億円	△31億円	△7億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます



● 差異要因分析 (第3四半期累計)

【輸入食肉市況】

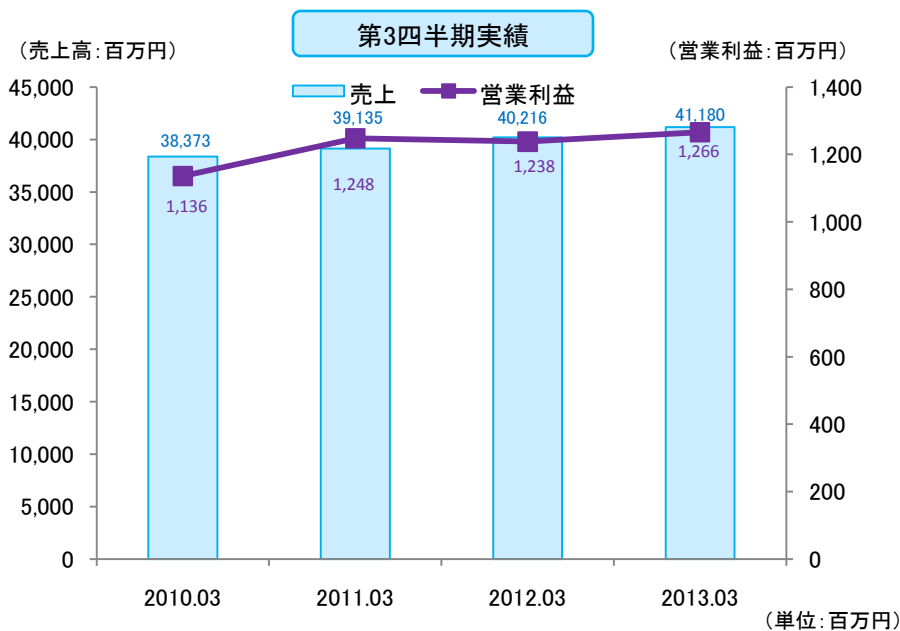
⇒ 輸入鶏肉は、10月以降収支改善となったが、第3四半期累計では収益は計画を下回った。

【海外事業の変動】

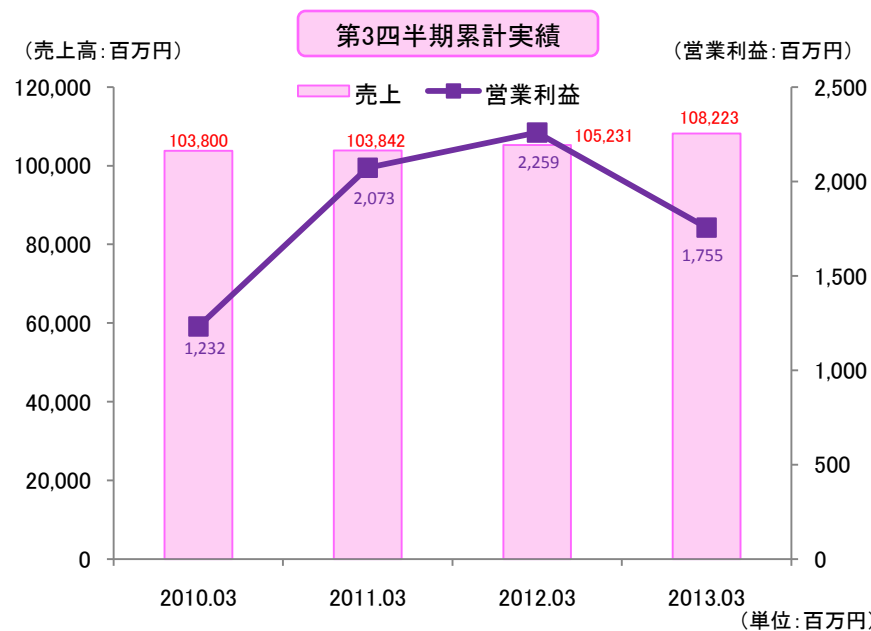
⇒ 豪州事業は牛生体価格が安定し、収支改善。

【国内食肉市況】

⇒ 国内食肉の相場回復の遅れで、収益は計画を下回った。



	2012.03 3Q	2013.03 3Q	前年差	前年比
売上高計	40,216	41,180	964	2.4
営業利益	1,238	1,266	28	2.3
営業利益率	3.1%	3.1%	-	-



	2012.03 3Q累計	2013.03 3Q累計	前年差	前年比
売上高計	105,231	108,223	2,992	2.8
営業利益	2,259	1,755	△ 504	△ 22.3
営業利益率	2.1%	1.6%	-	-

【第3四半期の状況】

(売上高)

- ・水産事業は、年末商戦を軸に量販店への営業活動やロシア産魚卵の取組を強化し、数量を伸長させたことにより、売上は微増。
- ・乳製品事業は、ヨーグルトについて量販店の販促を強化したことや、CVS向けのドリンクヨーグルトの売上が堅調に推移し、増収。

(営業利益)

- ・水産事業は、量販店で数量伸長となったが、鮭・鱒・かに等の相場下落の影響や販売経費増で、利益が減少。
- ・チーズは、コンシューマ商品が好調に推移し、増益。

【第3四半期累計の状況】

(売上高)

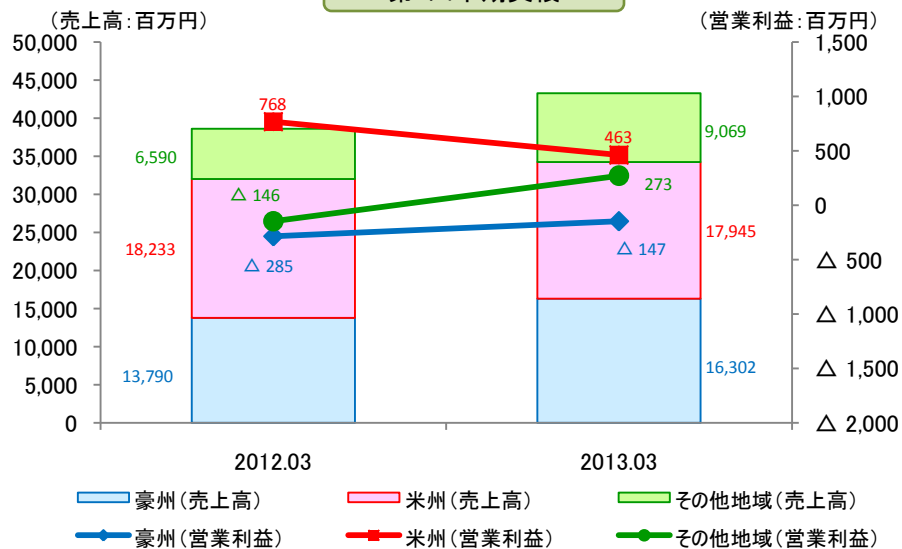
- ・水産事業は、えび・サーモン等重点商品の拡販や、量販店への営業活動を強化し、売上は伸長。
- ・乳製品事業は、チーズについてはベビーチーズを軸にコンシューマ商品の販売が伸長。ヨーグルトは、ドリンクヨーグルトの販売が好調に推移。

(営業利益)

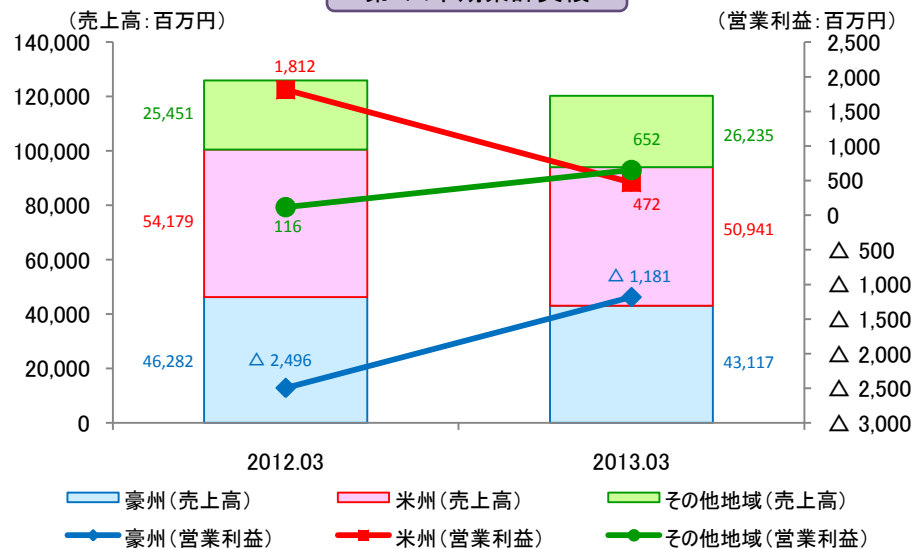
- ・水産事業は、一部魚種(鮭・鱒)の相場下落による利益率の低下で、減益。
- ・ヨーグルトは、売上数量の拡大に伴い利益率が向上し、増益。

6. 海外 主要所在地別業績実績

第3四半期実績



第3四半期累計実績



		2012.03 3Q	2013.03 3Q	前年差	前年比
海外計	売上高	38,200	42,074	3,874	10.1
	営業利益	329	590	261	79.3
豪州	売上高	13,790	16,302	2,512	18.2
	営業利益	△ 285	△ 147	138	-
米州	売上高	18,233	17,945	△ 288	△ 1.6
	営業利益	768	463	△ 305	△ 39.7
その他地域	売上高	6,590	9,069	2,479	37.6
	営業利益	△ 146	273	419	-

		2012.03 3Q累計	2013.03 3Q累計	前年差	前年比
海外計	売上高	124,096	117,710	△ 6,386	△ 5.1
	営業利益	△ 565	△ 78	487	-
豪州	売上高	46,282	43,117	△ 3,165	△ 6.8
	営業利益	△ 2,496	△ 1,181	1,315	-
米州	売上高	54,179	50,941	△ 3,238	△ 6.0
	営業利益	1,812	472	△ 1,340	△ 74.0
その他地域	売上高	25,451	26,235	784	3.1
	営業利益	116	652	536	462.1

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません)

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他地域は、アジア、欧州です。

【第3四半期の状況】

- (豪州)
 - ・牛肉事業の数量伸長により、増収・増益。
- (米州)
 - ・干ばつによる飼料高が継続し、養豚事業が影響を受け、減益。
- (アジア)
 - ・洪水影響から生産体制が回復したタイが増収。

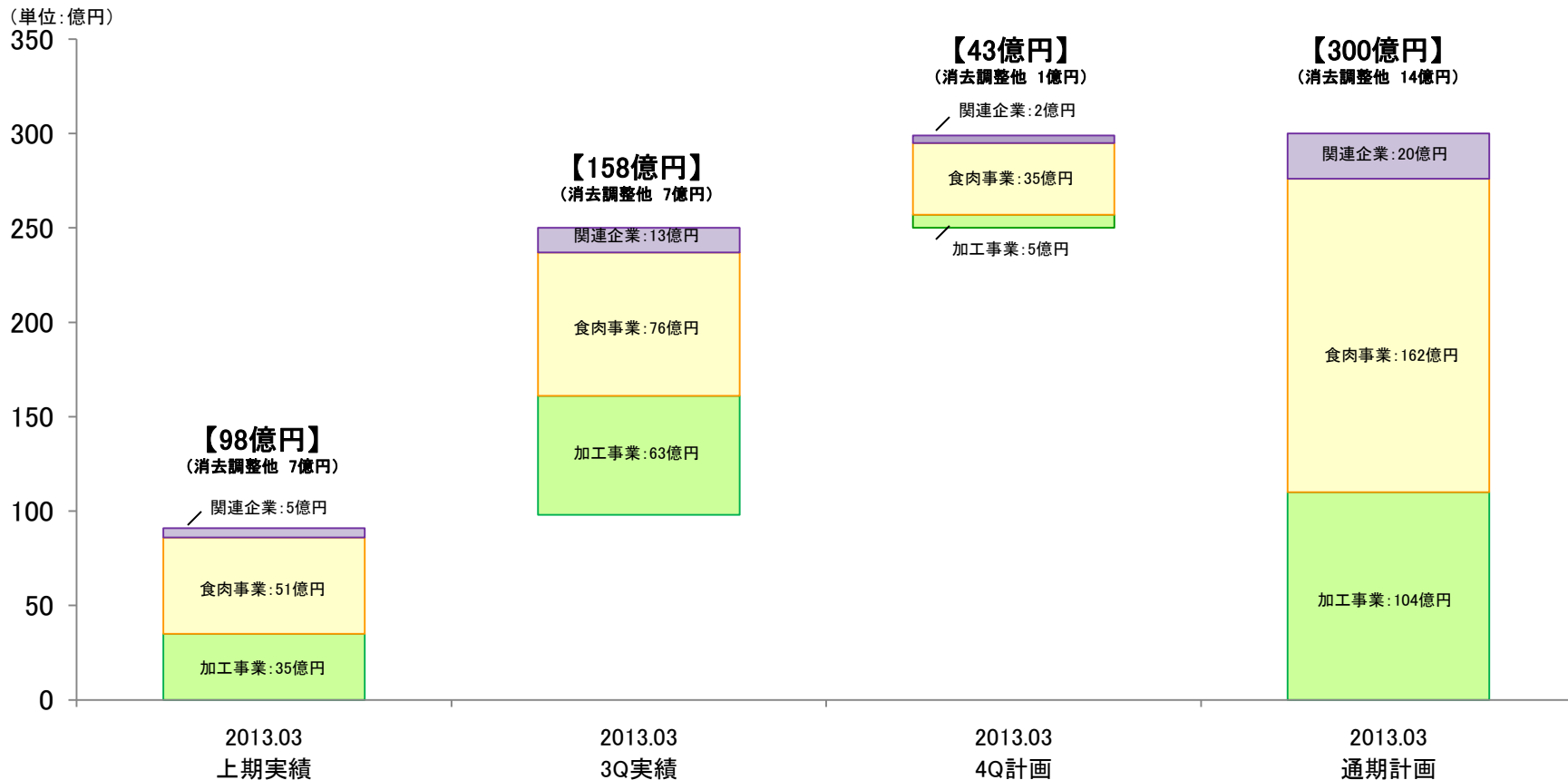
【第3四半期累計の状況】

- (豪州)
 - ・牛生体価格が落ち着き、収益が改善。
- (米州)
 - ・養豚事業において、穀物高、相場安の影響で、減益。
- (アジア)
 - ・2Q以降、アジア全域で改善傾向。

Ⅱ. 2013年3月期の計画

1. 2013年3月期 営業利益計画
2. 2013年3月期計画(加工事業本部)
3. 2013年3月期計画(食肉事業本部)
4. 2013年3月期計画(関連企業本部)

1. 2013年3月期 営業利益計画①



	2013.03 上期実績			2013.03 3Q実績			2013.03 4Q計画			2013.03 通期計画		
	2012.03 上期実績		増減	2012.03 3Q実績		増減	2012.03 4Q実績		増減	2012.03 通期実績		増減
加工事業本部	24億円	35億円	11億円	58億円	63億円	5億円	△2億円	5億円	8億円	80億円	104億円	24億円
食肉事業本部	87億円	51億円	△36億円	71億円	76億円	4億円	3億円	35億円	32億円	162億円	162億円	0億円
関連企業本部	10億円	5億円	△5億円	12億円	13億円	0億円	△3億円	2億円	5億円	20億円	20億円	0億円
消去調整他	△1億円	7億円	8億円	3億円	7億円	4億円	3億円	1億円	△3億円	4億円	14億円	10億円
合計	120億円	98億円	△22億円	144億円	158億円	14億円	1億円	43億円	42億円	265億円	300億円	35億円

※四捨五入による、数値の和・差と合計が一致しない場合は、消去調整他で調整しています。

【第2Q時見直し計画との差異】

※4Q及び通期計画については、第2四半期後に見直した計画となっています。

	2013.03 3Q実績			2013.03 3Q 累計実績			2013.03 4Q 計画			2013.03 通期計画		
	2Q時 計画		計画差	2Q時 計画		計画差	2Q時 計画		計画差	2Q時 計画		計画差
加工事業本部	70億円	63億円	△7億円	105億円	99億円	△6億円	4億円	5億円	2億円	109億円	104億円	△5億円
食肉事業本部	83億円	76億円	△7億円	134億円	127億円	△7億円	32億円	35億円	3億円	166億円	162億円	△4億円
関連企業本部	15億円	13億円	△2億円	20億円	18億円	△2億円	3億円	2億円	△1億円	23億円	20億円	△3億円
消去調整他	△4億円	7億円	10億円	3億円	13億円	10億円	△1億円	1億円	1億円	2億円	14億円	12億円
合計	164億円	158億円	△6億円	262億円	257億円	△5億円	38億円	43億円	5億円	300億円	300億円	0億円

※四捨五入による、数値の和・差と合計が一致しない場合は、計画差および消去調整他で調整しています。

【下期営業利益計画 増減要因分析】

【 加工事業 】	第2Q時見直し計画(元計画)との差異					
	4Q			通期		
	元計画	新計画	計画差	元計画	新計画	計画差
コスト改善効果	2億円	1億円	△1億円	20億円	19億円	△1億円
SCM効果(営業部門合理化含む)	1億円	2億円	1億円	8億円	9億円	1億円
主原料・副資材要因						
(内訳)主原料価格	△2億円	1億円	3億円	2億円	7億円	5億円
(内訳)副資材・燃料等	△2億円	△3億円	△1億円	△18億円	△21億円	△3億円
売上数量増	1億円	2億円	1億円	3億円	0億円	△3億円
タイ洪水影響	3億円	2億円	△1億円	3億円	1億円	△2億円
その他	3億円	3億円	0億円	11億円	9億円	△2億円
合計	6億円	8億円	2億円	29億円	24億円	△5億円

【 食肉事業 】	第2Q時見直し計画(元計画)との差異					
	4Q			通期		
	元計画	新計画	計画差	元計画	新計画	計画差
海外事業の変動(豪州、米州)	8億円	10億円	2億円	11億円	13億円	2億円
フード事業の伸長	1億円	△1億円	△2億円	0億円	△4億円	△4億円
輸入食肉市況	16億円	20億円	4億円	31億円	30億円	△1億円
国内ファーム事業の変動	4億円	2億円	△2億円	△29億円	△28億円	1億円
国内食肉市況	△4億円	△3億円	1億円	△21億円	△23億円	△2億円
その他	4億円	4億円	0億円	12億円	12億円	0億円
合計	29億円	32億円	3億円	4億円	0億円	△4億円

●ギフト売上拡大施策

- ・歳暮ギフト実績は、4,759千個(前年比99.2%、個数ベース)。
- ・『美ノ国』実績は72万個(前年比134%、個数ベース)。
- ・『美ノ国』の構成比も15%に伸長。

(来期、中元に向けて)

- ・旗艦ブランド『美ノ国』は、前年比120%を目指す(個数、金額)

【(参考)ギフト販売個数】

(単位:千個)

	2012.03 実績		2013.03 実績	
	個数	前年比	個数	前年比
中元ギフト販売個数	2,003	102%	2,026	101%
歳暮ギフト販売個数	4,799	98%	4,759	99%
合計	6,802	99%	6,785	100%

●主要ブランド・展示会新商品売上拡大施策

①ハム・ソーセージ

- ・展示会新商品の拡販
(『もう切ってますよ』シリーズ、『スーパーシンスライス』)

②加工食品

- ・量販店チャネルの強化と、新規チャネルの攻略で
重点商品の数量拡大を図る。

【(参考) 2013年3月期3Q累計 主要ブランド商品売上高伸び率(対前年同期比)】

ハム・ソーセージ	2013.03 3Q累計実績	加工食品	2013.03 3Q累計実績
シャウエッセン	104%	石窯工房群	103%
森の薫り新あらびきウィンナー	85%	中華名菜群	99%
彩りキッチン(ロース)	96%	プリフライ群	90%
ロースハム群	95%	ハンバーグ・ミートボール群	125%
ベーコン群	105%	カレー群	110%

●チャネル別売上拡大施策

①コンシューマ

- ・重点商品を中心に売上拡大を図り、販促を投入し、
ブランド力の強化を図る。

②業務用

- ・タイ日本フーズの商品拡販と、大手外食チェーンへの攻略を図る。

【(参考)2013年3月期3Q累計 チャネル別伸び率(対前年同期比)】

		数量	金額
ハム・ソーセージ	コンシューマ	103%	103%
	業務用	103%	104%
	合計	103%	103%
加工食品	コンシューマ	102%	101%
	業務用	95%	92%
	合計	98%	97%

●国内生産事業

①飼料価格

・円安及びとうもろこし価格の上げ基調により、来期飼料価格の高騰が予測される。

なお1月～3月の配合飼料価格は据え置きだが、補てんされる基金が減額されるため、実質的な負担額は増加。

②国内ファーム事業

【養豚】

・豚肉相場は出荷頭数が増加しており、当面は安値で推移する見通し。春から夏場にかけては回復基調と予測。

【養鶏】

・12月以降、相場は回復基調。生産性の改善等によりコスト低減を図る。

●海外事業

①豪州事業の改革

・引き続き生産性向上、経費削減等を進め、原価低減による利益率の改善を図る。

・豪州牛肉(ショートフェッド)の日本向け新商品(ワイアリーフ)の販売拡大。

併せて豪州国内及びアジアへの販売強化と新チャネルの開拓を進める。

②米州事業

・飼料価格の高騰もあり、今期養豚事業は厳しい状況。

●食肉販売(フード会社)

・国内3畜種(牛・豚・鶏)を中心に拡販を図り、数量拡大を目指す。

(10月～12月の数量実績:前年比104%)

●水産事業の売上拡大施策

(マリンフーズ)

- ・商品開発力強化と国内自社工場製品の拡販。
- ・エビ、サーモン等、重点商品の拡販による収益拡大。
- ・国内自社工場製品の拡販による利益率の向上。

(宝幸)

- ・外食、量販店等の得意先との取り組み強化。
- ・常温食品事業(缶詰)は、2月に生産能力を増強する八戸工場製品の販促を強化。

【(参考) マリンフーズ(株) 自社工場製品売上高伸び率】

	2013.03 3Q累計実績
自社工場製品	6,563 ^ト
対前年比	98%

【(参考) マリンフーズ(株) チャンネル別売上金額伸び率】

	対前年比
	2013.03 3Q累計実績
量販店チャンネル	106%
外食チャンネル	93%

●乳製品事業の売上拡大施策

(チーズ)

- ・製パン、外食向け等、主力チャンネルへの提案営業強化による販売数量拡大。
- ・季節やイベントを捉えた商品提案によるコンシューマ商品の拡販。

(ヨーグルト)

- ・日本ハムグループ展示会において提案した新商品の導入と定番化。
- ・量販店・CVSチャンネルにおけるNB商品・PB商品の開発強化と、生産能力を増強したドリンクヨーグルトのさらなる拡販。

【(参考) 乳製品売上高伸び率】

	対前年比
	2013.03 3Q累計実績
チーズ	99%
ヨーグルト	123%

●主原料・副資材価格の動向

- ・チーズ原料は、南半球の産地国の生産は順調だが、アジア・中近東等の需要が堅調なことに加え、為替の影響で輸入コストは上昇。
- ・ヨーグルト原料の粉乳については、国産は需給状況が厳しいことから、価格は高値で推移。

Ⅲ. 2013年3月期 第3四半期財務データ

1. 2013年3月期第3四半期連結業績概要及び通期計画
2. 連結売上区分伸び率、所在地別セグメント情報
3. 販管費、その他の営業費用、その他の収益
4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

1. 2013年3月期第3四半期連結業績概要及び通期計画

Copyright (C) 2013 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位:百万円、%)

	2012年3月期実績				2013年3月期実績及び計画					
	上期	前年比	3Q	通期	上期	前年比	3Q	前年比	通期	前年比
	累計実績		累計実績	累計実績	累計実績		累計実績		累計計画	
売上高	506,367	4.8	790,082	1,017,784	496,691	△ 1.9	787,802	△ 0.3	1,040,000	2.2
ハム・ソーセージ	65,628	1.5	108,858	137,286	67,301	2.5	111,514	2.4	141,500	3.1
加工食品	99,980	2.6	154,434	203,167	100,451	0.5	156,272	1.2	208,000	2.4
食肉	277,107	6.7	422,889	544,054	263,175	△ 5.0	413,308	△ 2.3	551,000	1.3
牛肉	101,883	9.1	155,865	197,494	99,101	△ 2.7	157,443	1.0	205,000	3.8
豚肉	101,123	3.9	153,609	201,563	98,726	△ 2.4	152,518	△ 0.7	205,000	1.7
鶏肉	62,009	9.2	95,568	122,873	55,664	△ 10.2	88,452	△ 7.4	119,000	△ 3.2
その他食肉	12,092	△ 0.6	17,847	22,124	9,684	△ 19.9	14,895	△ 16.5	22,000	△ 0.6
水産	39,135	0.4	64,973	82,836	40,192	2.7	66,062	1.7	85,500	3.2
乳製品	11,343	3.7	17,510	23,261	12,769	12.6	19,272	10.1	25,500	9.6
その他	13,174	15.4	21,418	27,180	12,803	△ 2.8	21,374	△ 0.2	28,500	4.9
売上原価	411,093	6.3	634,604	822,222	404,573	△ 1.6	633,945	△ 0.1		
売上総利益	95,274	△ 1.1	155,478	195,562	92,118	△ 3.3	153,857	△ 1.0		
売上総利益率	18.8%	-	19.7%	19.2%	18.5%	-	19.5%	-		
販売費及び一般管理費	83,272	△ 0.2	129,084	169,049	82,279	△ 1.2	128,195	△ 0.7		
営業利益	12,002	△ 7.1	26,394	26,513	9,839	△ 18.0	25,662	△ 2.8	30,000	13.2
税引前利益	9,577	△ 15.7	23,829	26,766	7,946	△ 17.0	24,447	2.6	25,500	△ 4.7
当社株主帰属当期純利益	4,799	△ 29.2	10,930	11,655	3,881	△ 19.1	13,899	27.2	13,500	15.8

* 米国会計基準を組替えて表示しております。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

【連結売上区分別伸び率】

(単位: %)

区分	2012年3月期 (対前年同期比)				2013年3月期 (対前年同期比)			
	3Q		3Q累計		3Q		3Q累計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
ハム・ソーセージ	2.3	0.1	1.9	0.9	5.7	2.3	4.6	2.4
加工食品	0.7	2.6	1.8	2.6	3.6	2.5	1.2	1.2
食肉	1.2	△ 0.2	2.4	4.2	5.2	3.0	2.5	△ 2.3
牛肉	△ 4.1	△ 2.1	6.2	4.9	7.8	8.1	△ 4.1	1.0
豚肉	4.8	1.6	3.1	3.1	2.6	2.5	2.2	△ 0.7
鶏肉	0.8	0.4	△ 1.4	5.9	7.7	△ 2.3	9.6	△ 7.4
その他食肉	4.5	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.4	△ 8.4	△ 9.5	△ 8.8	△ 16.5

【所在地別セグメント状況】

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期実績			2013年3月期実績及び計画					
	上期 累計実績	3Q 累計実績	通期 累計実績	上期 実績	前年比	3Q 累計実績	前年比	通期 累計計画	前年比
国内売上高	464,720	728,723	939,524	461,110	△ 0.8	731,936	0.4	960,000	2.2
外部顧客売上高	464,279	728,145	938,846	460,777	△ 0.8	731,441	0.5	959,000	2.1
セグメント間内部売上高	441	578	678	333	△ 24.5	495	△ 14.4	1,000	47.5
国内営業利益	12,746	26,871	27,404	10,824	△ 15.1	25,878	△ 3.7	30,000	9.5
国内売上高営業利益率	2.7%	3.7%	2.9%	2.3%	-	3.5%	-	3.1%	-
海外売上高	85,896	124,096	157,721	75,636	△ 11.9	117,710	△ 5.1	161,000	2.1
外部顧客売上高	42,088	61,937	78,938	35,914	△ 14.7	56,361	△ 9.0	81,000	2.6
セグメント間内部売上高	43,808	62,159	78,783	39,722	△ 9.3	61,349	△ 1.3	80,000	1.5
海外営業利益	△ 894	△ 565	△ 1,397	△ 668	-	△ 78	-	0	-
海外売上高営業利益率	△ 1.0%	△ 0.5%	△ 0.9%	△ 0.9%	-	△ 0.1%	-	0.0	-

* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

3. 販管費、その他の営業費用、その他の収益

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期 3Q累計実績	3Q累計実績	2013年3月期	
			対前年増減率	対前年増減額
★① <<販管費>>				
販売費及び一般管理費	129,084	128,195	△ 0.7	△ 889
人件費	49,634	49,164	△ 0.9	△ 470
広告宣伝費	8,618	8,511	△ 1.2	△ 107
★② 物流費	29,968	31,301	4.4	1,333
その他	40,864	39,219	△ 4.0	△ 1,645

主な増減要因

★① 販管費

全体では約9億円減少したが、売上高販管比率は変わらず。

★② 物流費

物流費のうち冷蔵費は約5億円増加、運賃は約8億円増加。

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期 3Q累計実績	3Q累計実績	2013年3月期	
			対前年増減率	対前年増減額
その他の営業費用及び(△収益)-純額	562	1,094	94.7	532
固定資産減損損失	1,132	691	△ 39.0	△ 441
特別退職金	15	54	260.0	39
その他	△ 585	349	-	934
★① その他の収益及び(△費用)-純額	△ 628	1,051	-	1,679
受取利息・配当金	701	806	15.0	105
有価証券評価損・売却損益	△ 200	△ 82	-	118
為替差損益	△ 1,100	365	-	1,465
その他	△ 29	△ 38	-	△ 9
支払利息	1,375	1,172	△ 14.8	△ 203

主な増減要因

★① その他の収益(△費用)-純額

為替差損益は、約15億円の改善。

4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

Copyright (C) 2013 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位:百万円、%)

《連結貸借対照表》		2012年3月期 期末実績	2013年3月期 3Q実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
★①	資産合計	589,125	619,079	5.1	29,954
	現金及び現金同等物	63,651	41,312	△ 35.1	△ 22,339
★②	売上債権	119,959	160,625	33.9	40,666
★③	棚卸資産	112,516	110,161	△ 2.1	△ 2,355
	有形固定資産	213,663	218,221	2.1	4,558
	投資及びその他の資産	28,889	28,323	△ 2.0	△ 566
	長期繰延税金資産	13,368	13,861	3.7	493
	負債合計	296,857	328,440	10.6	31,583
	支払手形及び買掛金	96,822	115,558	19.4	18,736
★④	有利子負債	139,187	153,511	10.3	14,324
	退職金及び年金債務	17,170	16,631	△ 3.1	△ 539
	当社株主資本	290,020	288,231	△ 0.6	△ 1,789
	非支配持分	2,248	2,408	7.1	160
	資本合計	292,268	290,639	△ 0.6	△ 1,629

主な増減要因

- ★① 資産合計
- ★② 売上債権
- ★③ 棚卸資産
- ★④ 有利子負債

②③を含めて約300億円の増加
 第3四半期(10月～12月)の売上高増加により、約407億円の増加
 主に食肉在庫の減少により、約24億円の減少
 普通社債の発行等により約143億円の増加

(単位:百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2012年3月期	2013年3月期		2013年3月期	
	3Q実績	3Q実績	対前年増減率	対前年増減額	通期計画
設備投資額	12,031	19,038	58.2	7,007	43,000
生産設備	5,762	7,927	37.6	2,165	12,600
販売・物流設備	1,913	2,204	15.2	291	12,700
ファーム・処理設備	2,561	5,663	121.1	3,102	8,100
海外事業設備	860	1,545	79.7	685	4,800
その他設備	935	1,699	81.7	764	4,800
減価償却費	17,682	14,288	△ 19.2	△ 3,394	22,000

お問合せ先
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話：03-4555-8024
FAX：03-4555-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。